

プロジェクトY

－ホタルの自然繁殖を目指して－

		代表者	萩野	詩季 (共獣B4年)		
構成員	正木	陽登 (農学B4年)	豊田	実歩 (教育B3年)	南里	康隆 (農学B3年)
	牧野	友樹 (理学B3年)	竹本	眞規 (人文B3年)	岡崎	花菜 (共獣B3年)

1. プロジェクト概要

昨年度はホタル、ビオトープについて、正しい知識を身に付ける、地域との情報交換を行いました。そして1年目の成果として、ホタルの飼育マニュアル、ビオトープ管理マニュアルを作成しました。

今年度は昨年度学んだことを生かし、今持つホタル飼育部屋をより良い施設へと整備します。また、マニュアルの見直しを行い、再検討します。新たに備品を備えて、ビオトープの清掃も行い、また去年作れなかった採卵飼育箱を作成します。

2. 目的

- ① 山口大学を含む平川地域を、ホタルの飛び交う環境にする
- ② 無理なく環境保全活動が行える仕組みづくりを作る

①に関してはホタルの飛翔数の増加を、②に関しては地域と協力しながら誰もが行える循環性を持つ環境保全活動を意味します。

3. 活動内容

7月までに備品を揃えホタル飼育活動を行う予定でしたが、予算の関係で揃えることが出来なかった為、来年度のホタル飼育に揃えメンバーで試行錯誤しながら来年度の活動に備える予定です。

今年度の活動は下記の通りです。

- ・ 備品の整備
- ・ 採卵飼育箱の作り方の講習 (写真1, 写真2)
- ・ 採卵飼育箱の作成
- ・ ビオトープの清掃 (写真5~8)

採卵飼育箱の作り方の講習を終えて採卵飼育箱を作成しました。土台は段ボールを使用しました。中の産卵用のタッパーは上の網部分に苔を乗せて、ホタルが産卵し、幼虫が孵化すると下のタッパーに入った水に幼虫が落ちる仕組みです。

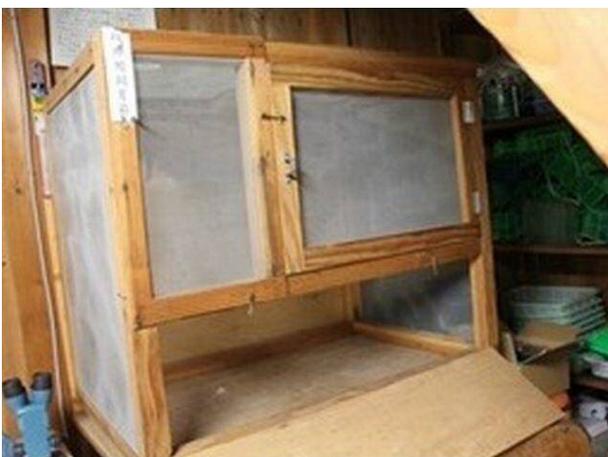


写真1 採卵飼育箱



写真2 採卵飼育箱の構造の説明



写真3 作成した採卵飼育箱



写真4 採卵飼育箱の中のタッパー



写真5 ビオトープ



写真6 ビオトープの清掃



写真7 ビオトープ清掃の一部



写真8 ビオトープ清掃に活用した申請済み物品